

【新改訳改訂第3版】

使徒の働き

10:1 さて、カイザリヤにコルネリオという人がいて、イタリヤ隊という部隊の百人隊長であった。

10:2 彼は敬虔な人で、全家族とともに神を恐れかしこみ、ユダヤの人々に多くの施しをなし、いつも神に祈りをしていたが、

10:3 ある日の午後三時ごろ、幻の中で、はっきりと神の御使いを見た。御使いは彼のところに来て、「コルネリオ」と呼んだ。

10:4 彼は、御使いを見つめていると、恐ろしくなって、「主よ。何でしょうか」と答えた。すると御使いはこう言った。「あなたの祈りと施しは神の前に立ち上って、覚えられています。

10:5 さあ今、ヨッパに人をやって、シモンという人を招きなさい。彼の名はペテロとも呼ばれています。

10:6 この人は皮なめしのシモンという人の家に泊まっていますが、その家は海べにあります。」

10:7 御使いが彼にこう語って立ち去ると、コルネリオはそのしもべたちの中のふたりと、側近の部下の中の敬虔な兵士ひとりとを呼び寄せ、

10:8 全部のことを説明してから、彼らをヨッパへ遣わした。

10:9 その翌日、この人たちが旅を続けて、町の近くまで来たころ、ペテロは祈りをするために屋上に上った。昼の十二時ごろであった。

10:10 すると彼は非常に空腹を覚え、食事をしたくなった。ところが、食事の用意がされている間に、彼はうつとりと夢ごこちになった。

10:11 見ると、天が開けており、大きな敷布のような入れ物が、四隅をつるされて地上に降りて來た。

10:12 その中には、地上のあらゆる種類の四つ足の動物や、はうもの、また、空の鳥などがいた。

10:13 そして、彼に、「ペテロ。さあ、ほふって食べなさい」という声が聞こえた。

10:14 しかしひペテロは言った。「主よ。それはできません。私はまだ一度も、きよくなない物や汚れた物を食べたことがありません。」

10:15 すると、再び声があつて、彼にこう言った。「神がきよめた物を、きよくなないと言つてはならない。」

10:16 こんなことが三回あつて後、その入れ物はすぐ天に引き上げられた。

10:17 ペテロが、いま見た幻はいったいどういうことだろう、と思い惑つていると、ちょうどそのとき、コルネリオから遣わされた人たちが、シモンの家をたずね当てて、その門口に立っていた。